災害の規模が大きくなればなるほど、自治体や消防などの関係機関がすべての被災地に対応することは難しくなる。まずは自らの命を守るという自助や隣同士が助け合う互助・共助が重要だ。実際に阪神・淡路大震災や中越大震災では、住民やコミュニティー、事業所などの自主的な行動が、避難や救出・救命に大きな力を発揮した。地域の防災力を高め、災害に備え災害発生時に助け合うために、全国的に自主防災組織への住民や取り組みが進み、新潟県でも組織率は着実に高まっている。しかし、自主防災組織は増えたものの、本当に機能しているのか、あるいは機能するのかという声も多い。自主防災組織に関する調査やリーダー研修を行っている澤田雅浩・長岡造形大学准教授に話を聞いた。

備え強める自主防災組織

澤田雅浩・長岡造形大准教授に聞く

地震契機に設立進む

共助の必要性を再認識

新潟県の自主防災組織の組織率（注1）は、全国平均を大きく下回る水準でした。しかし中越大震災の後、県や市町村がまた町内会や自治会といった組織もしっかりして組織づくりに力を入れた。こともあって、長岡市では80%近くに達するなど、自主防災組織への設立が進んでいます。

新潟県は他地域に比べ、災害時に十分機能する地域組織を持てていたから、これまで自主防災組織を急げなくてもよかったのだと思います。

中越大震災を経験した人ほど、自助や共助の必要性に注目が集まりました。高齢化や都市化の進行でコミュニティーの力にも陰りがみられます。そうした社会情勢に加えて、行政の動きも、さらに自主防災組織の設立は復興基金から出ています。そうした社会情勢に加えて、行政の動きも、さらに自主防災組織の設立は復興基金から出ています。

県内組織率

注1 自主防災組織率
全世帯数に占める自主防災組織世帯数の割合。自主防災組織がどの程度の世帯をカバーしているかという点から「カバー率」とも呼ぶ。

注2 消防団、水防団との違い
住民が主体となって火災や災害に取り組む点では同じだが、自主防災組織が任意団体であり自発的に活動するのに対し、消防団や水防団は公共機関として行政などの指揮下で活動する、団員は非常勤の特別職地方公務員。

さわだ・まさひろ　長岡造形大学建築・環境デザイン学科准教授。同大学復興支援センター次長。専門は都市計画、都市防災。中越大震災では復旧・復興調査に携わるほか、復興支援活動も行っている

※各年とも4月時点の数値。○内の数字は全国順位（消防庁「消防白書」）

役割と課題

機能することが大切

住民が協力し被害軽減へ

自主防災組織の活動は、情報や訓練、計画づくりなどによる災害への備えや、災害発生時の避難や救援などです。住民同士が互いに助け合い、協力して被害を少なくすることが基本です。一言いえば「地域防災力の向上」が役割です。

「ずっから自主防災組織を設立することが目的になってはいけません。設立した組織がきちんと機能して、地域防災の一翼を担うことが重要です。

ところが長岡市内の自主防災組織（防災会）の会長さんへのアンケートを行う組織として活性化を図り、機能させていくことが必要です。

調査では、「防災意識が向上しない」「活動に人が参加してくれない」「何をしたら良いかよくわからない」など、漠然とした悩みや行き詰まり感が読み取れました。また防災訓練についても、毎年同じようなプログラムなので、次第に参加者が減ってしまう、形骸化しているという声もよく耳にします。

それぞれに状況は異なるでしょうが、地域防災力を高めるためには、地域で起こる災害を考えることが重要なのです。災害がもたらす被害について考える」ことは、災害の種類によって異なります。

だけでなく、地域の立地や特徴によって異なります。つまり災害時に対応すべきことも地域によって異なるはずです。

10月に行われた防災キャンプでは、震災当時と同様に、参加者が体育館で夜を過ごした＝川口町木沢

自主防災組織　自主防災会　の課題　上位5項目		
1位	防災意識が向上しない	16%
2位	資金不足	15%
3位	活動に人が参加してくれない	13%
4位	何をしたら良いかよくわからない	12%
	役員のなり手がいない	12%
6位	組織が機能していない	6%
	情報が得られない	6%

（長岡市、中越防災安全推進機構等による防災アンケート調査、2009年）

地域に即した対策を

立地や特徴で変わる被害

防災力向上

重要なのは「地域と災害について考える」ことです。災害がもたらす被害は、災害の種類によって異なります。

地域で起こる災害を考えるワークショップです。中越大震災で起こったことや対応活動を参考にしたり、災害シミュレーション

防災ワークショップでは、事例などを参考に、自分たちの地域で起こることや対応方法を考えることから地域防災が始まることを確認した＝8月、富山県射水市

戸建ての木造住宅が密集している地域では火災への対応が重要です。高層の集合住宅では、火災などを一緒に考えます。よりも安全な避難が重要になります。同じような規模の地震でも、限界に達した方がよい地域もあります。同じ近所であっても、ばらばらになっていた方がよい地域もあります。

今、自主防災組織のリーダー研修を行っていますが、最初に行うのは、地域防災マップを作ることです。

自主防災組織はあくまでも住民の主体的な活動です。しかし地域内で助け合う自主防災組織は、組織化などハードの備えとともに、地域防災力を高めるために欠かせないとも考えられます。

次号案内

次号第19号は、2010年1月11日（月）に発行します。
発生から15年目を迎える阪神・淡路大震災の特集や、レスキューロボット最前線を紹介します。

中越イベント情報

川口町

■よってげ亭ふれあい市
【日時】12月20日（日）10時～14時
【会場】東川口商店街（国道17号沿い、案内看板あり）
【内容】特産品、手打ちそば、手作り総菜、お好み焼きなど販売
【問い合わせ】本町通り復興活性化委員会　0258(89)2079　代表　内藤克己さん

十日町市

■第31回十日町新雪マラソン大会～きらめく新雪をけって！～新年の夢ひろがる感動を！～新年の走り初めは鳴原清子選手と十日町市新座で
【日時】2010年1月2日（金）10時30分スタート
【会場】十日町中学校スタート、ゴール。県道、国道252号沿線
【内容】09年8月北海道マラソン優勝者の鳴原清子選手を迎えて開催。ハーフマラソン、10㌔、5㌔、3㌔の4コース。一般2500円、高校生以下1000円。走った後は新座名物とん汁、つきたてのおもちを食べ、「明石の湯」に入る。
【問い合わせ】新雪マラソン大会事務局　025(757)8638（大久保善雄さん）

柏崎市

■ガイドウオークスペシャル「冬鳥飛来　冬のバードウォッチング」
【日時】12月13日（日）10時～12時
【会場】柏崎・夢の森公園
【内容】日替わりガイドウオークのスペシャル版。月に一度、地元の自然に詳しい里山研究グループが案内する。今月は冬鳥観察会。定員20人。無料。電話、ファクス、電子メール（氏名・電話番号記入）で、柏崎・夢の森公園管理事務所へ申し込む。定員になり次第締め切る。
【問い合わせ】柏崎・夢の森公園管理事務所　電話0257(23)5214、ファクス0257(23)5113、電子メールinfo@yumenomori-park.jp
■クリスマス☆お楽しみ会
【日時】12月20日（日）13時30分～15時30分。13時開場
【会場】こども自然王国プレイホール
【内容】手作り感あふれるハートフルで温かいクリスマスイベント。今年は、ハモネプリーグ全国大会2007で優勝した女性4名のアカペラコーラスグループ「Soft Voice」が出演。シンプルピュアなハーモニーで郷愁と希望を響かせる。レクリエーションやゲームも。500円。当日はクリスマス限定ランチバイキングも開催。入場料とランチバイキングのセットプランも。要予約。
【問い合わせ】新潟県立こども自然王国　0257(41)3355

南魚沼市

■愛・天地人博　南魚沼
【日時】12月27日（日）まで毎日　8時30分～17時30分（最終入場17時）
【会場】愛・天地人博特設会場（JR六日町駅から徒歩1分、南魚沼市役所隣）
【内容】大河ドラマ「天地人」直江兼続の生誕の地「南魚沼」が楽しめる博覧会。入場者全員にプレゼント。大人（高校生以上）600円、小人300円、団体割引あり
【問い合わせ】愛・天地人博南魚沼プロジェクト事務局　025(773)6702

「社団法人　中越防災安全推進機構　復興デザインセンター」のサイトに、Web版「新潟　防災ジャーナル」が公開されています。
このサイトは、中越地震・中越沖地震からの復興に取り組む皆さんの情報発信の場として、コミュニケーションの場として活用いただけるよう運営しています。
ホームページアドレス　http://www.fukkou-design.jp/
※イベントは日程などが変更になることがあります。お出掛け前に、各項末尾の問い合わせ先にご確認ください。